発刊日　令和５年９月 22 日

奈良体育学会会報

第 92 号　　発行　奈 良 体 育 学 会

事務局： 奈良女子大学 生活環境学部 石坂友司研究室（〒630-8506　奈良市北魚屋西町）

https://nspehss.org/　　narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 松井 良明（奈良工業高等専門学校）

今なお残暑が続いておりますが、夕暮れ時には虫の音が聞こえる頃となりました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。平素は、奈良体育学会の活動に対し、ご理解・ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

先月に同志社大学で開催された日本体育・スポーツ・健康学会・第 73 回大会では、地域協力学会連絡会議が開かれ、全国の地域学会の活動が紹介されました。

現在、多くの地域学会で注目されているのが「運動部活動の地域移行」に関する議論とのことでしたが、本学会では、２年前のシンポジウムでこのテーマを取り上げたこともあり、昨年度は独自の地域貢献という観点も盛り込みながら、「奈良のスポーツ遺産」という独自のテーマについて議論をいたしました。

若手研究者への助成事業も各地域学会に共通するたいへん重要な取り組みと考えられていますが、こちらに関しては、本学会では今年度より学生・若手研究奨励賞に副賞を設けることといたしました。今年度の学会大会は、昨年度と同様、奈良女子大学のキャンパスをお借りして対面による実施を予定しています。会員の皆様におかれましては、奮ってご発表をお願いしたいと存じます。

なお、本年度のシンポジウムでは昨年度のテーマを引き継ぎ、「奈良のスポーツ遺産について考える Part 2」と題し、昨年度の議論をさらに広げる予定になっています。引き続き、会員皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

令和５年度奈良体育学会大会に関するお知らせ

令和５年度奈良体育学会大会につきましては、現地（対面形式）での開催を予定しております。

＜開催要領＞

期　日：令和５年 11 月 25 日（土）

会　場：奈良女子大学 N 棟 302 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

時　程：12:00～　受付　／　12:30～　総会、一般発表、シンポジウム
※演題数等により時間変更や会場追加の可能性があります。午前中から行う場合もあります。
※終了後、懇親会を予定しています。

＜一般発表＞

一般発表はすべてパワーポイント（スライド）による口頭発表とします。

＜シンポジウム＞

テーマ：「奈良のスポーツ遺産について考える Part 2」

趣　旨：

長い歴史をもつ「奈良のスポーツ遺産」とはどのようなものなのでしょうか。

昨年度のシンポジウムでは、様々な「有形」の「スポーツ遺産」を所蔵しておられる天理大学附属天理参考館、奈良県万葉文化館、葛城市立相撲館けはや座の関係者をお招きし、「奈良のスポーツ遺産」をめぐる意見交換を行いました。

これを受け、今年度のシンポジウムでは、対象を「有形の遺産」から「無形の遺産」に広げるとともに、人びとの＜暮らし＞、＜教育＞、＜研究＞、＜観光＞などの具体的な場面を通して「現代に活かされるスポーツ遺産」という視点で話題を提供していただき、表題に関する議論をより一層深め、学会員の共通認識を持ちたいと考えています。

具体的なキーワードは、以下のとおりです。「民俗スポーツ」、「無形文化財」、「武術・武道」、「スポーツ・ツーリズム」等。現在、奈良でこれらに深く関わる取組みをしておられる方々にご登壇を依頼中です。

＜参加申込・発表申込＞

「一般発表」申込期限：令和５年 10 月 27 日（金）17:00

「事前参加」申込期限：令和５年 11 月 17 日（金）17:00　　※当日参加も受け付けます。

「一般発表」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。一般発表の申込をされた方は、必ず併せて事前参加申込も行ってください。

「事前参加」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

学会大会申込み（参加・発表）ページ：　https://nspehss.org/taikai/taikaiform

令和５年度奈良体育学会大会専用メールアドレス（大会事務局）：　nara-taikai@nspehss.org

参 加 費：今年度より、大会参加費が無料となっています。会員外の方は参加費 1,000 円をいただきます（当日申し受けます）。

＜発表申込様式など＞

＊研究発表をされる方(筆頭演者)は奈良体育学会会員(一般・学生)に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。

＊**奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。**

＊**発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします(必須)。また、可能な限り発表内容の「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。**

＜学生・若手研究奨励賞＞

学会大会では、平成 30 年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部に所属する学生・研究生の正会員、または年齢が 30 歳以下の正会員で、当該発表のファースト・オーサーとなっています。**令和 5 年度より、副賞を贈呈することとなりました。**学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

＜プログラム詳細・大会要項など＞

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては､学会 HP 及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。**学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。**

なお、研究年報は**令和 5 年度よりオープン・ジャーナルといたします。**学会 HP にアップロードしますので、会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。冊子での配布は行っていません。また、学会活動(会報)、会則、内規等につきましては、学会 HP にて閲覧してください。

締　切：令和 6 年 1 月 26 日(金) 17：00

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 奈良女子大学 石坂友司宛 (E-mail: **narajimukyoku@nspehss.org**)

＜誌上発表論文書式＞

＊A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで 4～6 枚、上下左右の余白を 20mm としてください。
(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

＊**原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した 2 種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。**カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能ですが、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。**学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい**。

＜発表抄録書式(今年度の大会発表者用)＞

用紙 A4 で 1 枚 (図表込み)、本文は 2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル 14 ポイント、氏名・所属 11 ポイント、本文は 9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード (9 ポイント) を所属と本文の間に 3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は＜誌上発表論文書式＞と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：　https://nspehss.org/kenkyu-nenpo

理事会報告

Ⅰ．令和５年度奈良体育学会第１回理事会議事録

日時：令和５（2023）年４月 18 日（月）18:30～19:40
会場：zoom オンライン開催
出席：石坂友司、高橋豪仁、立正伸、寺田和史、中田大貴、星野聡子、松井良明（五十音順、敬称略）

〇報告事項
１．会員の動向
理事長より会員の動向が報告された（退会者を含まず）。
（本部）日本体育・スポーツ・健康学会の会員
名誉会員５名、正会員 84 名、計 89 名
（支部）奈良体育学会のみの正会員 12 名、名誉会員２名、計 14 名
２．『奈良体育学会研究年報』第 27 号の刊行について
理事長より、『奈良体育学会研究年報』第 27 号の刊行が報告された。
３．R5 年度地域協力学会助成金・会費について
理事長より、本部に対する令和５年度の地域協力学会助成金の申請について、学生・若手研究奨励賞の奨励金を盛り込んだ 10 万円の申請がなされたことが説明された。また、令和 4 年度の年会費支払者が 88 名、13 万 2000 円であったことが報告された。

〇審議事項
１．令和４年度決算　別紙
原案（別紙）の通り承認された。会計監査の成瀬九美会員、藤原素子会員から監査を受けたことが報告された。
２．令和５年度予算（案）

令和5年度　奈良体育学会　予算案

［一般会計］

＜収入＞

前年度繰越金	¥377,759	
会費	¥132,000	R4年度会費納入金額相当
補助金	¥70,000	本部に申請中(助成見込み額、申請は10万円)
大会参加費	¥0	
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥579,759	

＜支出＞

会議費	¥10,000	
事務費	¥30,000	HP管理運営費含む
通信費	¥30,000	
学会大会・例会費	¥20,000	若手研究奨励賞副賞を含む
研究年報作成費	¥60,000	PDF編集ソフト等購入費含む
アルバイト料	¥20,000	
講演謝礼	¥50,000	
予備費	¥359,759	
合計	¥579,759	

原案の通り承認された。星野理事より学会大会時の懇親会費の計上について質問がなされた。これまでも予算計上していないことが確認された。星野理事より選挙年度の通信費の追加計上について質問がなされた。郵送と Google Form を用いた電子投票の方法を踏襲することとし、通信費の予算内で実施可能であることが確認された。立理事より、支出項目の学会大会・例会費と講演謝礼をまとめてはどうかとの提案がなされた。種々意見交換の後、講演謝礼の予算額が明確に分かるこれまでの記載方法を踏襲することが確認された。

３．学会大会の参加費について

議題 4.『奈良体育学会研究年報』のオープン・ジャーナル化の方針が昨年度の理事会で決定したことについて、会員のメリットを確保する趣旨で、学会大会参加費を徴収しないことが寺田理事より提案された。中田理事から参加費をとることになった経緯の説明がなされ、ホームページの整備などにより収支は安定していることから、参加費を徴収せずに運営が可能と判断し、提案は承認された。

４．『奈良体育学会研究年報』のオープン・ジャーナル化について

『奈良体育学会研究年報』のオープン・ジャーナル化について、国会図書館から ISSN の新規取得を行うことが確認された。

５．会則の改訂について

現在の会則が総会の議決によってしか変更できず、事務局の変更記載に遅れが生じていることについて、事務局の所在地のみ理事会承認で行えるような会則の改訂案が理事長から示され、以下のように改訂することを承認した。総会に提案審議される。

（現在）

第 21 条　本会の事務局は総会において決定する。

第 22 条　本会の事務局を次に置く。

〒632－0071　奈良県天理市田井庄町 80　天理大学体育学部

第 24 条　本会の会則は総会の議決により変更することができる。

（改訂案）

第 21 条　本会の事務局は 2 年度毎に変更し、理事会で決定する。

第 22 条　本会の事務局を次に置く。

〒630－8506　奈良県奈良市北魚屋西町　奈良女子大学スポーツ健康科学コース
石坂友司研究室

第 24 条　本会の会則は総会の議決により変更することができる。なお、事務局の所在地については、理事会の議をもって変更できるものとする。

６．「運動部活動の地域移行」に関する調査について

日本体育・スポーツ・健康学会より、「運動部活動の地域移行」に関する調査依頼が届いていることについて、会員に情報収集を呼びかけ、提出することが確認された。

７．奈良体育学会大会の開催及びシンポジウムについて

学会大会は 2023 年 11 月の土曜日（11/18 or 11/25 が候補）、奈良女子大学を会場として開催することとし、シンポジウムの内容については次回 7 月の理事会で審議することが確認された。

８．入退会について（敬称略）

以下の退会者について承認された。また、年度会費の未納会員について理事間で確認を行い、納入の呼びかけを行うことが確認された。

・退会・転出者（2022 年度）

伊藤道郎、辻野和美、熊天宇、平元香葉、山本樹、兼安亜美（敬称略）

以上

（別紙）令和４年度決算

2022（令和4）年度奈良体育学会一般会計報告書

R5.3.31

＜収入＞　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	備　考
会費	150,000	132,000	18,000	88名分
補助金	70,000	65,000	5,000	JSPEHSSより65,000円
学会大会参加費	24,000	14,000	10,000	一般13名（1000円）、大学院生2名（500円）
雑収入	0	0	0	
利子	0	2	△ 2	通常貯金利息(2円)
当期収入合計	244,000	211,002	32,998	
前年度繰越金	338,189	338,189	0	
合計	582,189	549,191	32,998	

＜支出＞

項　目	予算額	決算額	比較増減	備　考
会議費	20,000	11,727	8,273	
事務費	40,000	28,036	11,964	
通信費	30,000	17,881	12,119	
学会大会・例会費	80,000	1,268	78,732	
研究年報作成費	40,000	57,200	△ 17,200	
アルバイト料	20,000	14,000	6,000	
講演謝礼	50,000	41,320	8,680	
予備費	302,189	0	302,189	
当期支出合計	582,189	171,432	410,757	
次年度繰越金	0	377,759	△ 377,759	
合計	582,189	549,191	32,998	

令和4年度奈良体育学会基金報告書

R5.3.31

（単位　円）

前年度繰越金	収　入		支　出	現在高	備　考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	R5/3/31現在高

2023年4月3日
会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

成瀬 九美　印

2023年4月11日
会計監査の結果、適切に処理されていることを認めます。

藤原 素子　印

Ⅱ．令和５年度奈良体育学会第２回理事会議事録

日時：令和５（2023）年７月 24 日（月）18:30～20:00
会場：zoom オンライン開催
出席者：石坂友司、高橋豪仁、立正伸、寺田和史、中田大貴、星野聡子、松井良明（五十音順、敬称略）

〇報告事項
１．会員の動向
理事長より会員の動向が報告された。
（本部）日本体育・スポーツ・健康学会の会員
正会員 83 名、名誉会員５名、計 88 名
（支部）奈良体育学会のみの正会員 12 名、名誉会員２名、計 14 名
２．令和５年度地域協力学会助成金・会費について
理事長より、令和５年度地域協力学会助成金・会費の状況が報告された。また、若手研究奨励賞に副賞を出すことに対して本部より２千円の追加配分がなされことが説明された。
R5 年度地域協力学会助成金　67,000 円（R3 年度　65,000 円）
R5 年度会費　69 名　1,500 円×69=103,500 円（R3 年度　72 名 106,500 円）

〇審議事項
１．令和５年度の事業計画（案）について
４月の第１回理事会で審議もれがあったため、事業計画について改めて審議が行われた。以下の事業についてすべて承認された。
（１）奈良体育学会会報発行
第 92 号：学会大会案内号
第 93 号：学会大会プログラム号
（２）奈良体育学会総会・学会大会開催
（３）若手研究奨励賞（大会時）
（４）『奈良体育学会研究年報』第 27 号刊行（2024 年３月）
・2024 年１月 26 日（金）17 時原稿締め切り
・オープン・ジャーナル（ISSN の新規取得済）＋保管用冊子 20 部
（５）ホームページの運用
（６）次期役員選挙
（７）その他は特になし
２．学会大会について
審議の結果、以下のように承認された。
（１）開催時期
2023 年 11 月 25 日（土）
・奈良女子大学で行う。年報のオープン・ジャーナル化に伴い、会員のメリットを確保する観点から参加費は徴収しないことにする。会員外の参加者についてはこれまで通り会費を徴収する方向で検討し、シンポジウムを共催している奈良女子大学フォローアップ研修会のメンバーからは会費を徴収しない。また、シンポジウムはオープン公開とし、広報の仕方（会費徴収の可否）については会場校の奈良女子大学で検討を行う。
（２）大会シンポジウムについて
・松井会長を中心に企画案を作成し、2022 年度シンポジウム「奈良のスポーツ遺産」の第二弾を行う。内容は「無形の遺産」、「現代に活かされるスポーツ遺産」、「教育」というテーマを中心に検討し、三大学が関わり、関連するテーマ、演者を８月中に選定する。
（３）若手研究奨励賞について
・これまでの賞状に加え、副賞（現金）を贈呈する。
（４）懇親会について
・懇親会を実施し、飲食はケータリング業者への依頼を検討する。外部からのシンポジストの懇親会参加費は学会費で支弁する。

３．定期貯金（7 月満期）の運用について
　満期を迎えた定期預金 15 万円について、引き続き預け入れを行うことが確認された。立理事より、一定の預入期間を経過すれば自由に引き出しが可能であるため、資金が必要なイベントが開催されても対応可能であることが情報提供された。
４．入退会について
　以下の会員の入退会について承認された（敬称略）。
・本部入会（転入）：大石祥寛（帝塚山大学）、田中奏一（鹿屋体育大学大学院）
・支部入会　辻野和美：本部→支部会員として再入会
・本部退会（転出）：石村広明、佐藤夢女、山野修司
５．地域協力学会連絡会議（8/31 12:20-13:20）への出席について
　日本体育・スポーツ・健康学会大会時の地域協力学会連絡会議について、松井会長が出席することが確認された。
６．その他
　　特になし。

　最後に、松井会長より学会大会における一般発表への応募勧誘を各大学の理事から行うことが確認された。

以上

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※令和４年度以降の会報の発行について

学会 HP の運用が始まったことや、学会運営経費の削減のため、今後の会報の配布や学会事務局からの随時のお知らせは、順次、電子メールによる配信に移行させていただくことを考えています。その場合、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されている方につきましては、そちらに届け出されているメールアドレスに送信いたします。

現時点でこちらがメールアドレスを把握している方につきましては、郵送と同時に電子メールによる会報の配布も行っています。電子メールにより会報が届いていない方や、奈良体育学会のみの会員の方でまだメールアドレスをお届けいただいていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※研究年報の発行について

研究年報につきましては、令和５年度よりオープン・ジャーナルとして刊行し、ホームページを通じての提供といたします（国会図書館を通じて ISSN 登録されます)。

※　日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和５年度の年度会費 1,500 円をお納め下さい。2 年続けて年会費を納入しない正会員の方は退会とさせて頂きます。

【年会費振込先】　郵便振替　口座番号　０１０００－２－２８１６９
加入者名　奈良体育学会